

組織現勢 (2月1日現在)

組合員数 24,503 世帯  
 出資口数 87,328 口  
 12・1月の新規加入 124 世帯  
 12・1月の増資口数 1,865 口

No. 317 再生紙を使用しています。



発行所  
**城南保健生活協同組合**  
 本部事務局 大田区大森中1-22-1 2階  
 TEL (3762) 0266  
 振込銀行 さわやか信用金庫大森支店  
 口座(普) 0469459  
 発行 「城南の保健」編集委員会  
 毎月1回発行・定価1部 30円

# グループホーム虹の家しおかぜ開設 みちづから5周年祝賀会が おこなわれました

1月24日(土)、虹の家しおかぜ開設・みちづから5周年祝賀会へのご参加、ご協力ありがとうございました。

当日は、103人の方々に出席いただき、職員一同励みながら、改めて気の引き締まる場となりました。

しおかぜのオーナーである山本海苔店社長の山本徳治郎氏、城南福祉医療協会理事長の権守光夫氏、東京民医理事務局長の権守光夫氏、東京民医理事務局長の小嶋博之氏から心こもったご挨拶をいただき感謝申し上げます。

また第2部では、中延支部のかつばね、波野さんのマジックショー、あじさいコーラスの歌声で祝賀会を盛り立てていただきました。

そして、多くのみなさまのご参加でこの祝賀会が成功でございましたこと、ご出席いただきま



開設おめでとう! かんば〜い!



城南福祉医療協会  
 権守光夫理事長



しおかぜオーナーの  
 山本海苔店社長  
 山本徳治郎氏



虹の家しおかぜ  
 橋本雪子所長



城南保健生活協  
 小関匡彦理事長

したすべてのみなさまにお礼申し上げます。

今後とも、入居者一人ひとりが主役として、安らぎ・楽しい雰囲気の中で生活できるよう支

援してまいります。みなさまのご支援もよろしくお願いたします。

城南保健生活協同組合



組合員の波野さんの手品



グループホーム虹の家しおかぜ・みちづから職員紹介



あじさいコーラス(右は綿貫有三子みちづから所長)



中延のみなさんのカッポシ

さて、2月12日現在「みちづか」の入居者さんは「ユニット9」人定員で9人の方が入居、「しおかぜ」は2ユニット18人定員で15人の方が入居しています。2月中には18人全員の方が入居します。「しおかぜ」のスタッフ体制も充実してきました。現在15人で日々、楽しく入居者さんと一緒に過ごしています。



真鍋純一さん

\*介護福祉士  
 \*大田区出身 大田区育ち  
 \*27歳  
 \*趣味は、これといってありませんが、仕事をしている時が楽しいです。  
 \*利用者さんと一緒にアットホームな施設を築いていきたいと思っています。



河津真理子さん

\*介護福祉士  
 \*品川区出身 品川区育ち  
 \*28歳  
 \*趣味 音楽鑑賞・カラオケ  
 \*楽しくお手伝いをしていきたいです。特に料理をがんばります。

街が静かです。道路を走る車の量もめっきり少なくなりました。全治3年、100年に一度、こんな風に表現せざるを得ないほどに不況が世の中を包みこんでいます。アメリカで発生した不況が、たちまち日本全土をおおいつくしています。街には失業者があふれ、個人経営の商店や製造業者の多くが、3月の決算を乗りきれぬかの瀬戸際にあります。だに政府は「定額給付金」を国民多数の反対を押しきって実施させました▼政権党も含めて多くの議員が、議員定数の削減で国民の不満の声をかわそうとしています。肝心なのは議員の働きぶりであり、政治の本身です。歴代の政権党は輸出関連大企業を手厚く保護してきました。外需に日本経済の発展を委ねてきたのです。反面、国の農業・漁業は衰退の道をたどりました。空前の利益を積み重ねてきた大企業への優遇を改め、農業・漁業の再建をはかる。そこに政治の本身を変え、不況打開への方向がみえてきます▼日本は四方を海に囲まれ、複雑な海岸線をもち、さらに暖流と寒流が交わるという好条件に恵まれ、1980年代までは世界有数の漁獲量を誇っていました。農業でも水に恵まれ、技術の蓄積もあり、食糧の自給をほぼ満たしていました。しかし日本の農業の多くが個人経営に委ねられていたこともあって、衰退してゆきました。世界的な食糧危機が迫っている今、日本農業、漁業の再建は急務です。それが不況の解決の道を示し、さらに環境の保全にもつながります。

## 腹八分

風に見舞われるを得ないほどに不況が世の中を包みこんでいます。アメリカで発生した不況が、たちまち日本全土をおおいつくしています。街には失業者があふれ、個人経営の商店や製造業者の多くが、3月の決算を乗りきれぬかの瀬戸際にあります。だに政府は「定額給付金」を国民多数の反対を押しきって実施させました▼政権党も含めて多くの議員が、議員定数の削減で国民の不満の声をかわそうとしています。肝心なのは議員の働きぶりであり、政治の本身です。歴代の政権党は輸出関連大企業を手厚く保護してきました。外需に日本経済の発展を委ねてきたのです。反面、国の農業・漁業は衰退の道をたどりました。空前の利益を積み重ねてきた大企業への優遇を改め、農業・漁業の再建をはかる。そこに政治の本身を変え、不況打開への方向がみえてきます▼日本は四方を海に囲まれ、複雑な海岸線をもち、さらに暖流と寒流が交わるという好条件に恵まれ、1980年代までは世界有数の漁獲量を誇っていました。農業でも水に恵まれ、技術の蓄積もあり、食糧の自給をほぼ満たしていました。しかし日本の農業の多くが個人経営に委ねられていたこともあって、衰退してゆきました。世界的な食糧危機が迫っている今、日本農業、漁業の再建は急務です。それが不況の解決の道を示し、さらに環境の保全にもつながります。